

## 平成24年度 第2回被服学教育FD／ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日 時：平成24年7月31日（火）10:00～12:55
- II. 場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者：高部啓子委員長、伊佐治せつ子委員、田中早苗委員、阿部栄子委員、  
鈴木美和子アドバイザー  
(事務局) 井端事務局長、森下幹事、松本職員

### IV. 議 題：学士力実現に求められる教育改善モデルの検討

- ①教育改善モデル実現に求められる教育力
- ②教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

#### 1. 議事概要

前回の委員会でまとめた被服学教員に期待される学識について、「学識」は、研究能力、教育能力が中心となることや教育姿勢を捉えている内容であることから、「学識」の文言は使用せず「専門性」に改めた。また、「学習」についても「学修」に統一することとなった。例えば、「学修成果」「学修ポートフォリオ」「学修支援システム」となる。

本委員会では、まず、資料No.②-1, ②-2に掲げた教育改善モデル固有の教育力について検討した。具体的には、教育改善モデル実現に求められる教育力、教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題 についての内容である。シラバス間の調整、教育間の体系的理解を加え、教育モデル固有の教育力について②-1で3つ、②-2で3つ、合わせて6項の箇条書きにするとした。

#### (1)教育改善モデル実現に求められる教育力

被服教育における教育改善モデルの内容を確認しながら、それを実現するための教育力について検討した。

- ・被服学の教育改善モデルでは到達目標を「被服材料の特性を理解し、被服設計への応用と被服デザインの着用表現ができる。繊維、アパレル産業における生産、流通の仕組みと企画設計までのプロセスを理解することができる。」と設定していることから、関連科目間の連携、情報の共有が重要であるとした。そして、グローバルな視点、多角的視点で協働することが重要である。

- ① 授業のカリキュラム上の位置づけを教員間で共有し、シラバスの調整を行い、カリキュラムポリシーに沿った授業を実施できること。
- ② グループワークを通じて体系的な実験・実習を展開できること。

- ③ 被服デザイン、被服材料、被服設計の専門教員と協働する中で、人体と衣服との関連付けを実践的に考えさせられること。
- ④ 産業界との情報交換と実体験を通じた産学連携の授業を展開することができる。
- ⑤ 学修過程をポートフォリオ化し、成果をWebを通じて学内外にプレゼンテーションさせられること。
- ⑥ 学内外の評価結果をデータベース化して振り返りを行わせ、改善させられること。

## (2)教育力を実現するためのFD活動と大学としての課題

FD活動では、教員間の連携、グループ学修を促進する指導法の必要性、科目担当の教員と企業関係者や産地との連携が重要である。大学としての課題については、大学としての一般的なバックグラウンドなどを考慮して5項にまとめた。

### 1) FD活動

- ① カリキュラムの全体像と当該授業の位置づけおよび授業内容と教育方針との点検・評価の確認を組織的かつ継続的に行う必要がある。
- ② 関連分野の研究報告会および授業参観等に積極的に参加する機会を設け、教員間の連携を強化する場を継続的に設ける必要がある。
- ③ グループ学習を促進する指導法のワークショップを組織的に行う必要がある。
- ④ 産地・企業の研究報告会に積極的に参加し、専門科目を担当する教員と企業関係者との連携を図り、社会の状況を授業に活かす必要がある。
- ⑤ 学内外の評価による振り返りを行わせる指導法について、専門家を招くなどの研究会を実施する必要がある。

### 2) 大学としての課題

- ① 授業の録画、教材コンテンツ、ネットワーク上のディスカッションを可能にするため、学内外の多様なコンテンツをアーカイブする必要がある。
- ② 学修ポートフォリオを活用した学修支援を実効あるものとするために、大学として組織的な取り組みと支援が必要である。
- ③ 学内外の関連分野教員や社会の専門家などから協力を得るために、連携を呼びかけ、制度の整備および財政的な支援を行う必要がある。
- ④ ICTを活用した教育手法を支援する組織と環境を大学として整備する必要がある。
- ⑤ 学務系職員、ICT技術系職員の教育支援能力の開発(SD)と教員との連携の強化への支援が必要である。

## 2. 次回委員会までの課題

以下について、それぞれ分担して検討し、9月3日(火)までに委員長宛に提出する。

- ・ 学士力の背景（全体）について（A4、2／3ページ以内）  
どのような背景で学士力として掲げたか、物語風にまとめる。
- ・ 各到達目標の解説について（5～6行以内）

## V. 次回開催日程

日 時：9月17日（月、祭日） 11：00～17：00

場 所：私立大学情報教育協会 事務局 会議室

検討事項：教育改善モデルの検討

（学士力の背景、到達目標の解説）

以上